

令和元年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	国際医療福祉大学(学生課)
団 体 等 名	IUHWローターアクトクラブ
学生代表者氏名 (所属・学年)	町田 結花 言語聴覚学科 2年
責任教職員氏名	大石 剛史(医療福祉・マネジメント 准教授・ボランティアセンター長)

1. 事業名	復興の輪を広げよう～栃木の新鮮野菜や果物で笑顔を作るプロジェクト～
2. 実施時期	令和元年9月～令和2年2月
3. 実施場所	宮城県山元町
4. 事業の内容等	<p>災害復興をテーマに栃木県で生産された野菜や果物を宮城県山元町にある普門寺が開催するてらマルシェに出店。販売を通してその街の住人の方とのコミュニケーションを図りながらこころのケアを行う。現在、東日本大震災より9年の月日が経ち、現地の方の復興支援は年々薄れていく中で、会話を通して今の現状を把握し、これからの支援に繋げていく。宮城県の方に栃木の美味しい野菜や果物を知っていただきながら、宮城県から観光にいらしていただけるよう、近隣の福島県などもPRする。(宮城県からのルートの説明など)販売の売り上げは、義援金としてすべて寄付し、山元町の復興に役立てていただく。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>高齢の方や子供たちとの会話の中で、栃木県の名産や宮城県の名産の話で場の雰囲気がとても良く、楽しい時間を過ごすことができた。今回、販売するはずだった栃木県のお野菜がうまく手に入らず、急遽、福島県で梨農園を営んでいる鈴木農園さんのご厚意で梨を入手。販売することができた。今後は栃木(大田原)の農家さんともう少し連絡を密に取り合い、栃木県産の品物を宮城県の方に知っていただきたいと思う。</p>

活動報告

活動内容：復興の輪を広げよう

～栃木の新鮮野菜や果物で笑顔を作るプロジェクト～

活動日：令和元年9月14日

活動場所：宮城県山元町 普門寺 （宮城県山元町山寺字浜163）

(活動の様子)



(ふりかえり)

地域の方との交流活動で東日本大震災からの復興の大変な状況を聞きたうえで、街づくりを考えている様子は人の生きていく力の強さを感じ取ることができた。しかし、1人では限界があり寺カフェのようなコミュニティが繋がりを作り、地域の方たちにはなくてはならない場所であることもわかった。今後も木県から復興の支援を継続して行きたいと考える。

I UHWローターアクトクラブ

根本 拓実